

ULT通信

2019.2.20号 / vol.84 発行 / ULT 図書館司書

今回が今年度最後のULT通信です。2018年度、ULTではどんな本が人気だったのでしょうか？貸出回数ランキングを掲載します。読み逃している本があれば、ぜひ借りよう！

ULT 貸出ランキング 2018年4月1日~2019年2月15日

1位

22回

一般部門



2018年本屋大賞!

2位

18回



ドラマCDのコミカライズ

2017年本屋大賞!

4位

14回



アニメも人気!

5位

12回



映画化!



映画化!



住野よる 人気!



ULT 百選部門

1位

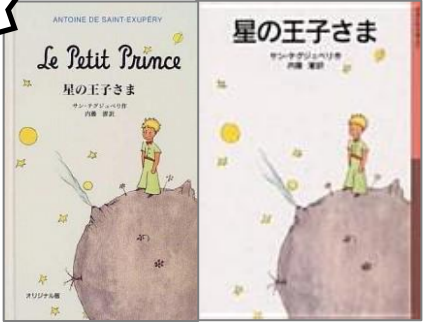
35回



アニメ化!

2位

27回



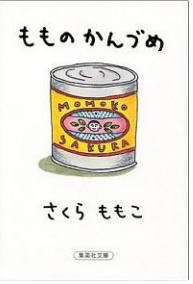
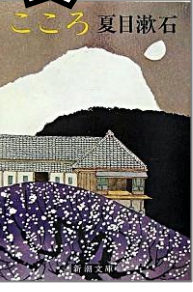
3位

21回



4位

17回



著者永眠...

新着案内

1月の新着は約60点です
一部抜粋で紹介します。

↓気になるタイトル! 読みたくなる!



タイトル	著者	出版社
日本が売られる レモンをお金にかえる法 “経済学入門”の巻 新装版 日本列島の下では何が起きているのか 列島誕生から地震・火山噴火のメカニズムまで 生き物はどのように土にかえるのか 動植物の死骸をめぐる分解の生物学 だから私はメイクする 悪友たちの美意識調査	堤未果 ルイズ・アームストロング 中島淳一 大園享司 劇団雌猫	幻冬舎 河出書房新社 講談社 ベレ出版 柏書房



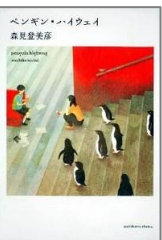
↓進路のこと・社会のこと、考えてみたい人に。

タイトル	著者	出版社
大学の学科図鑑 質問する、問い返す 主体的に学ぶということ 図解知識ゼロからの現代漁業入門 18歳からの政治入門 財政から読みとく日本社会 君たちの未来のために	石渡嶺司 名古屋隆彦 濱田武士 日本経済新聞政治部 井手英策	SBクリエイティブ 岩波書店 家の光協会 日本経済新聞出版社 岩波書店



コラムdeリレー

第84回は高橋が担当です。突然ですが、ペンギンって可愛いですよ。あの丸みを帯びたフォルム、よちよちと歩く姿…。口の中がちょっとグロテスクなところもギャップがあって良い。さて、今回のテーマは「ペンギン」…ではなく「美しい人」です。なぜいきなりペンギンからコラムが始まったかというと、紹介する本が森見登美彦の『ペンギン・ハイウェイ』だから。昨年の夏にアニメ映画になりました。



物語は、知的好奇心に溢れた小学4年生のアオヤマ君が主人公です。アオヤマ君が密かに興味をもっているのが近所の歯科医院で働いているミステリアスなお姉さん。彼らが住む町に突如ペンギンが現れ、クラスメイトのウチダくん、ハマモトさんと一緒に町に巻き起こる超常現象の謎に挑みます。そして、ラストにはいよいよお姉さんの正体が明らかに…という物語。ペンギン発生から始まった物語は、後半にかけて謎の生物、超常現象が入り乱れたハード SF 小説の様相を呈していきます。第31回(2010年)日本SF大賞受賞も納得です。

そんなSF色の強い物語ですが、<少年のひと夏の恋物語>としても楽しむことができます。少年の目から見たお姉さんは、きれいでミステリアスで、憧れの存在。つまりそれは<恋>だと思いますが、本人は無自覚。あくまでも冷静なアオヤマ君です。やがてお姉さんへの興味が<好き>に変わっていく。それを自覚した時に少年は一步大人になります。そんな少年期の一瞬を描いた物語なのではないかと思いました。作中で巻き起こった超常現象、そして切ないラストも、すべてはアオヤマ君の目に映った恋心の光景…なんていうのは大胆な解釈でしょうか。

私が人生で初めて<美しい人>と認識したのは、小学1年生の頃の担任の先生だったように思います。眼鏡をかけていて、長髪を束ねた先生でした。容姿の印象以外記憶にありません。恥ずかしがり屋だったため先生との会話はほとんどなかったのかもしれませんが、唯一覚えているのは、先生が教室でマーブルチョコ(長い筒に入ったお菓子)を取り出してニコニコしながら食べていた光景。おおらかな学校だったのでしょ。次回は<お菓子>をテーマにします。